

## あなたは奇跡！

先日、ある大阪府の先生がお書きになった文章を読む機会がありました。とても学びの深い文章でしたので、今年度最後のカウンセリングルーム便りにその抜粋を紹介させていただきます。

「もっとかわいい顔に生まれたかったな」

「なんで、もっとスポーツ万能の子に産んでくれなかったんだ」

このように、人をうらやんだことはありませんか。もっと違う自分に産んでほしかったと思ったことはありませんか。

頭がよくなりたい。テストでいい点をとりたい。他人よりも優れていたい。もっといい暮らしがしたい。そんな気持ちでいっぱいになることもあるでしょう。

さて、人間はどこから来たのでしょうか。あなたは、どこから来たのですか。生まれる前はどこにいたのですか。難しい質問ですね。

生物学的なお話をします。女性が生まれたとき、その人の卵巣にはすでに約50万個の未成熟な卵子が入っています。思春期になるまでにその数は減っていき、約4万個になります。思春期以降には、約1か月ごとにそのうちの1個が成熟し排卵されます。

一方、男性の精巣も思春期までは働きませんが、12歳くらいから活動を開始し、1日に約7,000万個の精子を作ることになります。男性が一生につくる精子の数は、天文学的な数になるそうです。

50万個のうちの卵子1個と天文学的な精子のうちの1個が受精してできたのがあなたです。母親のその卵子にあなたの命の半分が、そして父親のその精子にまた半分があったのです。

わずかなわずかな確率で、あなたが生まれたのです。卵子か精子、どちらか一方でも違えば、あなたではありませんでした。別の人間が生まれ、あなたはこの世にはいませんでした。これと同じことが、何代も、何代も起こってきました。おじいちゃんとおばあちゃんの時代、そしてひいおじいちゃんとおひいおばあちゃんの時代、それよりも何代も何代も昔……。

卵子と精子が一つでも違えば、また誰かと誰かが出会わなければ、あなたはこの世に生まれてきませんでした。あなたではない、別の人間が生きることになります。

そのように考えると、あなたが生まれた確率は限りなくゼロに近かったのです。そんな確率の中から生まれてきたのが、あなたです。これは奇跡です。あなたは、人類の奇跡の一人です。あなたは、その顔でその体で選ばれてこの世に生まれてきたのです。頭だってそうです。運動神経だってそうです。何か一つでも違っていれば、それはあなたではなかったのです。性格も、顔も、能力も、生まれつき持っているものは、かけがえのないものばかりなのです。

だから、人をうらやむのはやめましょう。他の人と比べるのはやめましょう。あなたに与えられた体、心、能力、性質の中で一生懸命生きていけば、それで十分なのです。

だってあなたは奇跡なのですから。

### 2月・3月のスクールカウンセラー出勤日

2月	5日(水)	12日(水)	26日(水)
3月	5日(水)	12日(水)	

